シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月28日(火)

9:00-9:05

主催者挨拶

9:05-9:15

挨拶

尾崎正直 衆議院議員 デジタル大臣政務官

9:20-10:00

単独講演 AWS のビジネス戦略：金融デジタル変革を共創するパートナー
～ 金融イノベーションを「ビジョン」から「アクション」へ～

鶴田規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 エンタープライズ事業統括本部
金融事業/ストラテジックアカウント/西日本事業本部 統括本部長

概要：金融イノベーションは、「ビジョン」から「アクション」のステージへと移ろうとしています。その実現のために、金融インダストリーは、クラウドを始めとする新しいテクノロジーの活用をビジネス・クリティカルな領域へと拡張すること、そしてイノベーションを継続的メカニズムとして組織へと定着させることが求められます。本セッションでは、AWSを活用した最新のお客様のイノベーション事例をご紹介しますと共に、AWS の本年度の金融ビジネス戦略を通して、AWS がお客様の金融デジタル変革をどのようにご支援するのかをご紹介します。

10:05-10:25

単独講演 感動による記憶がつなぐサステナブルな顧客体験

則武譲二 ベイカレント・コンサルティング 常務執行役員 CDO

概要：体験価値がこれまで以上に重視される中、自社と顧客の関係を長年にわたって維持・向上させることは一筋縄ではいなくなっており、DXがその傾向に拍車をかけています。

それを乗り越える鍵となるのが、“感動”と“記憶”です。感動が生む記憶が強靱な顧客関係を築き、持続可能な顧客体験を創り上げます。

新興 FinTech に隠された感動と記憶の仕掛けを紐解きながら、金融業界におけるサステナブルな顧客体験の創り方を示します。

10:30-10:50

単独講演 「シン個人」の時代を見据えたアフラックの DX サービス

二見通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員 兼 CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)CDIO(チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)

概要：

11:00-12:00

パネル 三井物産のデジタル金融戦略 ～商社が担う、新たな金融領域～

真野雄司 三井物産 執行役員デジタル総合戦略部長

加藤次男 三井物産デジタルコモディティーズ 代表取締役社長
三井物産 コーポレートディベロップメント本部 理事

上野貴司 三井物産デジタル・アセットマネジメント 代表取締役社長

モデレーター：

神本侑季 N.Avenue 代表取締役社長 CoinDesk Japan 代表取締役社長

概要：

12:05-12:35

対談 Web3時代で急増するデータセンターの電力需要をどうまかなうか
～海外再生可能エネルギーの活用と国際貢献～

<p>13:00-13:10</p>	<p>二宮暢昭 ムロオシステムズ執行役員 柴山重久 日本経済新聞社 編集 総合解説センター シニアプロデューサー</p> <p>概要：web3時代の到来により、ブロックチェーンに関わる、データセンターの電力需要は急増するとみられている。この問題を解決するために、海外における再生可能エネルギーを活用するアイデアが生まれている。クリーンなエネルギーかつ、途上国への国際貢献、更に「2 国間クレジット制度」(JCM) への活用を視野に入れた取り組みを紹介する。(当日は統計データ等も駆使して説明します)</p> <p>挨拶</p> <p>黒田東彦 日本銀行 総裁</p>
<p>13:20-13:40</p>	<p>単独講演 多彩なパートナーと紡ぎ出す〈みずほ〉の価値共創について</p> <p>梅宮真 みずほフィナンシャルグループ取締役 執行役員副社長（代表執行役） デジタルイノベーション担当（グループ CDIO）</p> <p>概要：〈みずほ〉は社会やお客さまのペインポイントに対して、みずほグループの強みを活かし、多彩なパートナーの皆さまとともに、新たな価値を創造していくことを目指しています。本セッションでは様々な共創事例を交えながら、〈みずほ〉における DX の取組をご紹介します。</p>
<p>13:50-14:50</p>	<p>パネル 人生 100 年時代に"シン個人"と社会を豊かにする</p> <p>～デジタルで進化・加速する信託銀行ビジネス～</p> <p>益井敏夫 三井住友トラスト・ホールディングス 執行役員 三井住友信託銀行 常務執行役員 Trust Base 代表取締役</p> <p>吉崎敏文 NEC 執行役員常務 デジタルビジネスプラットフォームユニット長</p> <p>モデレーター： 山本由里 日本経済新聞社 編集 マネー・エディター</p> <p>概要：人生 100 年時代を迎え、一人一人の価値観が多様化する今、テクノロジーを活用することで、社会課題解決と経済的価値を創出し、新しい時代の個人（シン個人）の暮らしや社会が豊かになる。実践企業がビジネス変革に取り組む狙い、そしてその先に見据えているビジョンとは。その時に求められるデジタルテクノロジーの可能性とは。事例を交えながら議論する。</p>
<p>15:00-15:20</p>	<p>単独講演 「シン個人」の時代を支える銀行界の挑戦</p> <p>半沢淳一 全国銀行協会会長 三菱 UFJ 銀行 取締役頭取執行役員</p> <p>概要：</p>
<p>15:25-15:45</p>	<p>単独講演 SMBC グループのデジタル戦略をアップデートする</p> <p>谷崎勝教 三井住友フィナンシャルグループ執行役専務 グループ CDIO</p> <p>概要：技術革新や環境問題、地政学的リスクといった様々な事象によって事業環境が変化中、あらゆる領域で競争と共創が不可欠になっており、各企業は更なるデジタル化による時流に沿ったビジネスモデル変革が必要になっています。このセッションでは、既存の業種や企業といった枠組みを超えた、SMBC グループの新たなデジタルビジネスについてご紹介いたします。</p>
<p>15:50-16:10</p>	<p>単独講演 Everyday Banking 世界で広がる”デジタル×決済”が作る顧客接点の新時代</p> <p>コナー・リンチ ビザ アジア太平洋地域 イシューソリューションズ・ヘッド ヴァイス・プレジデント</p> <p>概要：銀行のリテールバンキングにとって、決済端末としてのスマホとして以上に、スマホアプリが顧客接点として重要性を増しています。銀行アプリへ確実にアクセスしてもらうため、海外の銀行の中には、Everyday Banking というコンセプトでデビット機能により日々の接点を作り、そこからローンや投資商品など付加価値の高い商品のクロスセルを目指しています。</p>
<p>16:20-17:10</p>	<p>パネル 働き方、シン個人 — ワークスタイルの多様化とフィンテックの新たな出会い</p> <p>松尾元信 日本証券経済研究所 エクゼクティブフェロー 大槻奈那 ビクテジャパン シニア・フェロー 名古屋商科大学大学院 教授 柳川範之 東京大学 大学院経済学研究科 教授 藤原賢一 リクルート HRSaaS 領域プロダクトマネジメント室 室長</p>

モデレーター：

三輪純平 リクルート プロダクト統括本部 シニアエキスパート 国立リベラルアーツ 代表取締役

概要：

17:20-18:10

主催者パネル **メタバースは金融をどう変える ～金融もエンタメだ**

塩崎彰久 衆議院議員 自由民主党デジタル社会推進本部 web3 PT 事務局長

松尾栄一 アフラック生命保険執行役員

ピーター・オネムス dacadoo 創業者 CEO

セバスチャン・ボルジエ The Sandbox 共同創業者 COO

モデレーター：

荻生泰之 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング ストラテジックインパクト

フィンテックリーダー／ブロックチェーン・コンサルティング・ビジネスリーダー／パートナー

概要：急速なデジタル化の進展で、顧客とのタッチポイント確保に悩む金融機関は多い。リアルとデジタルの融合が課題と言われる中、メタバースの存在がにわかに注目を集めている。エンタメ性を持ったゲーミフィケーションやアバター経済がさまざまな心理的バリアを取り払ってくれる可能性も秘めている。

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月29日(水)

9:00-9:10

挨拶

鈴木俊一 財務省財務大臣 内閣府特命担当大臣 (金融)

9:10-10:05

パネル 産官学連携が紡ぐ Web3.0 の未来

アラン・リム Head, FinTech Infrastructure Office, Monetary Authority of Singapore

伊藤穰一 デジタルガレージ 取締役 兼 共同創業者 兼 チーフアーキテクト

千葉工業大学変革センター センター長

松尾真一郎 ジョージタウン大学 Department of Computer Science 研究教授

ミシェル・コーバー アンドリーセン・ホロウィッツ

モデレーター:

有泉秀 金融庁 総合政策局 国際総括官

概要: 複雑に発展を続ける暗号資産市場において、リスクへの対応とイノベーションのバランスを取ることは極めて難しくなっており、多様なステークホルダーの協働が不可欠となっている。各国の当局者やビジネス、中立的なアカデミアの立場から、①Web3.0やデジタル資産への期待とリスク、②エコシステムの持続的な発展に向けた Next step 等について、具体的な取組の紹介も交えながら議論を行う。

10:20-11:15

パネル 金融規制とイノベーション〜クリプトの冬を超えて〜

天谷知子 金融庁 金融国際審議官

ジェニファー・スカルプ ケイト・インスティテュート ディレクター

ワイジェーフィッシャー 米国証券取引委員会 ディレクター

サンドラ・トブラー フューチュレイ Co-founder & CEO

モデレーター:

ジェマイマ・ケリー フィナンシャル・タイムズ コラムニスト

概要: 大手暗号資産取引業者の破綻や DeFi への相次ぐハッキングなど、暗号資産がもたらすリスクへの対応が喫緊の課題となっている。健全な規制環境下においてこそ真に持続可能なイノベーションがもたらされるとも考えられる。日米の規制当局者やビジネスサイドの視点から、①足元で直ちに求められるリスクへの対応や、②中長期的な視点から持続的な成長をどのように確保していくかについて議論を行う。

11:30-12:30

パネル 日本の Web3.0 戦略

栗田照久 金融庁 総合政策局長

シーラ・ウォーレン クリプト カウンシル フォー イノベーション CEO

渡辺創太 Astar Network ファウンダー Startale Labs CEO

平将明 自由民主党 web3PT 座長

モデレーター:

楠正憲 デジタル庁 統括官

概要: 日本政府は Web3.0・デジタル資産に係る戦略・取組を策定している。これらの戦略・取組を紹介するとともに、米国を中心とした海外動向との比較も行いつつ、Web3.0・デジタル資産の可能性や更なる発展に向けた課題や取るべき方策等について議論する。

13:20-14:20

パネル 日本市場の可能性

沖田貴史 ナッジ 代表取締役 Fintech 協会 代表理事会長

李暢 Plug and Play Japan Fintech/Insurtech Director Fintech 協会 理事
有友圭一 東京国際金融機構 専務理事
ピーター・ケネバン PayPal 東京支店 日本事業統括責任者

モデレーター：

堀本善雄 金融庁 総合政策局 政策立案総括官

概要：金融サービス高度化の担い手は国内事業者に限定される必要はなく、開かれた金融センターとして日本は海外フィンテック事業者の誘致にも注力している。実際に日本市場参入を果たした海外フィンテック事業者から見た日本市場の特徴や魅力の紹介とともに、市場参入時の課題・論点（人材確保、コンプラ対応等）とその解決策についても議論を行う。

14:35-15:35

パネル デジタル金融最前線～技術が拓く決済の未来～

中島淳一 金融庁 長官
中山一郎 PayPay 代表取締役社長執行役員 CEO
谷崎勝教 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO
ダイアナ・アヴィラ Wise Banking & Expansion Global Head of Banking & Expansion

モデレーター：

別所昌樹 日本銀行 決済機構局 FinTech センター長

概要：送金や決済手段は、リテールを中心として大きく変化しているほか、日本銀行における CBDC の議論も進展している。これらは利便性を高めている一方で、決済システムのリスクも変容させる可能性がある。国内外の中銀や決済サービスの提供者を交えて、決済システムの未来について議論する。

15:50-16:50

パネル トークナイズーションがもたらす証券市場のフロンティア

齊藤達哉 三菱 UFJ 信託銀行 プロダクトマネージャー
Progmatt 代表取締役 ファウンダーCEO(予定)
小林英至 Securitize Japan Country Head, Japan
拙仁雄 大阪デジタルエクステンジ 代表取締役社長
SBI ホールディングス デジタルスペース室 部長
佐々木俊典 BOOSTRY 代表取締役 CEO

モデレーター：

柳瀬護 金融庁 総合政策局 参事官

概要：デジタル証券は、グローバルに見ても未だ発展途上であるが、プログラマビリティを生かした決済の効率化や投資家との関係構築など、従来の証券市場とは異なる可能性を秘めている。国内外事業者や取引所の立場から、デジタル証券の可能性と発展に向けた課題について議論する。

17:05-18:05

パネル 現実を超えた未来へ ～メタバース内の新たな社会構築～

中馬和彦 KDDI 事業創造本部 副本部長
山口明夫 日本アイ・ビー・エム 代表取締役社長
河合祐子 Japan Digital Design CEO MUFG/三菱UFJ銀行 経営企画部 部長
ヤット・シウ Animoca Brands 創業者 代表取締役会長

モデレーター：

眞下利春 金融庁 総合政策局 フィンテック参事官

概要：コンテンツに強みを持つ日本にとってメタバースが拓くビジネス機会は大きく、その活用に向けた検討や取組が急速に進められている。他方、デジタル新大陸における社会構築は始まったばかりであり、多くの課題も指摘されている。非金融の領域も含めて日本企業の最先端の取組を紹介するとともに、金融へのインプリケーションについても議論する。

18:10-18:15

挨拶

藤丸敏 内閣府副大臣（金融担当副大臣）

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月30日(木)

9:00-9:50

主催者パネル 地方から進める金融 DX データの“地産地消”が創生の鍵に

新発田龍史 金融庁監督局参事官
柴田秀樹 千葉銀行 デジタル改革部 部長
本多智佳 滋賀医科大学 医学部看護学科公衆衛生看護学講座 客員准教授
佐伯卓也 ダイナトレック取締役

モデレーター:

藤沢久美 国際社会経済研究所理事長

概要: ビジネスのあり方や業務のあり方を変革する DX は、ところを選ばず必要性が叫ばれている。ただ、取り扱うデータには、地域地域によって特性があることがわかってきた。地方銀行がその特性を活かしたデータ利活用をリードすることで、地域に合った成長・発展が期待できる。

10:00-10:50

主催者パネル Web3.0 が繋ぐビジネス×金融×行政の「シン時代」

牛田遼介 金融庁 総合政策局 チーフ・フィンテック・オフィサー
岡澤恭弥 Animoca Brands 共同創業者 最高投資責任者
野呂崇享 三菱 UFJ 銀行 事業開発室長

モデレーター:

小川恵子 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング バンキング アンド キャピタル(銀行・証券) マーケットリーダー レグテックリーダー、パートナー (公認会計士)

概要: Web3.0 の世界では、ゲームをきっかけにメタバースや NFT、デジタルマネーなどが展開されています。これらの「シン・デジタル」を活用することで金融インフラへどうつなぎ、例えばヘルスケアや教育分野などの社会課題をどう改善していくか、デジタルの活かし方が問われる時代だと考えています。2023 年のパネルディスカッションでは、まずは世の中が持っている、誤解や思い込み「行政が民間の邪魔をしている?」「官民はライバル同士?」「金融機関はシンデジタル領域に慎重?」などを払拭しながら、Web3.0 が繋ぐビジネス×金融×行政の「シン時代」にむけた思考や取り組みなどを討議していただきます。

11:00-11:50

主催者パネル 2025 マイナポータル大改革に乗り遅れるな! ~真の顧客本位への挑戦~

村井英樹 内閣総理大臣補佐官 衆議院議員
村上敬亮 デジタル庁統括官 国民向けグループ長
二見通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員 兼 CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)CDIO(チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)
千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO

モデレーター:

瀧俊雄 マネーフォワード 執行役員 CoPA Fintech 研究所長

概要: マイナンバー制度の中核であるマイナポータル。2025 年に向けて、その抜本的なアーキテクチャの見直しによる大幅なアップデートが計画されていることをご存じだろうか。マイナポータルとの API 連携等を通じて金融機関がサービス高度化に活用する道は既に開かれているものの、実際の利活用はまだ道半ばだ。しかし、このアップデートにより情報連携に更なる柔軟性をもたらされる可能性もあり、顧客目線に立った金融サービス提供に向けたマイナンバーの活用余地は更に高まる。マイナンバーカードの普及も進む中で事業者はこのビジネスチャンスはどう活用すべきか、識者による議論を行う。

12:00-12:30

デモステージ A

dacadoo デジタルヘルスを活用した保険会社の顧客サービス

高橋正敏 dacadoo Japan 日本事業責任者

Ginco Ginco のインフラサービスが実現する Web3 ビジネスの全体像と可能性

森川 夢佑斗 Ginco 代表取締役

GMS 地域の低与信層を救え！GMS の金融包摂型モビリティファイナンスサービスとは

中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO

13:00-13:20

単独講演 「シン個人」が輝く政策と都市

片山さつき 参議院議員 自由民主党金融調査会長

13:30-14:30

パネル デジタル活用による未来の個人投資の可能性

池田肇 野村ホールディングス 執行役員 デジタル・カンパニー長 兼 営業部門マーケティング担当

沼田薫 野村ホールディングス 執行役員 デジタル・カンパニー担当 兼 営業部門マーケティング担当

北風大輔 ベイカレント・コンサルティング 常務執行役員

大澤崇生 ベイカレント・コンサルティング 執行役員

加藤秀樹 ベイカレント・コンサルティング ベイカレント・インスティテュート

概要：「貯蓄から投資へ」。個人投資促進の重要性が高まる一方、メタバース、OMO など従来の証券ビジネスの顧客接点・サービスを大きく変革しうるデジタル潮流が勃興しています。

本対談では、野村 HD 執行役員 デジタル・カンパニー長兼営業部門マーケティング担当 池田氏とベイカレント 常務執行役員 北風氏、他が野村 HD のデジタル変革の取り組みを紐解くとともに、デジタルを活用した投資行動変容や新たな金融サービスの可能性など、個人投資の未来像に迫ります。

14:40-15:30

主催者パネル データ駆動社会における金融データ活用の新世界

平本健二 デジタル庁データ戦略統括

中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO

内山誓一郎 クレジットエンジン 代表取締役

飯田哲夫 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 金融事業開発本部 本部長

モデレーター：

下山紗代子 デジタル庁データスペシャリスト/オープンデータ伝導師 リンクデータ代表理事

概要：デジタル庁では、経済発展と社会的課題の解決を両立（新たな価値を創出）する人間中心の社会を実現するため、包括的データ戦略においてその戦略推進方策の司令塔となっている。行政自身が国全体の最大のプラットフォームとなるだけでなく、民間とも連動できるオープンなシステムの構築が期待される。特に金融分野では、誰ひとり取り残されないデジタル社会の実現に向けて、包摂的なフィンテックサービスの充実が求められる。

15:40-16:30

主催者パネル Web3 ブレイクスルー！ その実現に必要なものは何か？

神田潤一 衆議院議員

渡辺創太 Astar Network ファウンダー Startale Labs CEO

森川夢佑斗 Ginco 代表取締役

近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO

モデレーター：

小川恵子 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング バンキング アンド キャピタル(銀行・証券) マーケットリーダー レグテックリーダー、パートナー (公認会計士)

概要：Web3 の基幹技術ブロックチェーンは、仮想通貨の登場によって注目されたが、多くの企業はその不安定さから活用を躊躇した。Web3 という新しいコンセプトを引っ提げブレイクスルーを目指すブロックチェーンは、どのように社会実装されていくべきなのか。そして、その実現に必要なものは何か。Web3 ビジネスの最先端で活躍するスタートアップ創業者・代表が徹底的に議論する。

16:40-17:20

デモステージ B

Helpfeel ～地銀の事例に見る～カスタマーサポート DX を実現する革新的な自己解決ツール「Helpfeel」の活用

洛西一周 Helpfeel 代表取締役/CEO

ダイナトレック データ活用・内製化推進による DX 実現への方策
～地銀約 30 行が活用するデータ統合活用ツール DYNATREK～

佐伯慎也 ダイナトレック 取締役

TRUSTDOCK デジタル ID ウォレットによるマイナカード活用と自己証明の未来

千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO

17:30-18:30

主催者パネル フィンテック 10 年、歩みと展望

三輪純平 リクルート プロダクト統括本部シニアエキスパート 国立リベラルアーツ 代表取締役

北澤直 元 Coinbase ジャパン日本代表 Kyash 取締役 AnyMind 監査役

岩田太地 NEC 主席ビジネスプロデューサー

大久保光伸 デジタル庁 ソリューションアーキテクト

南知果 経済産業省大臣官房スタートアップ創出推進室総括企画調整官

モデレーター：

山田康昭 GiveFirst 代表取締役 CEO FIN/SUM2023 統括責任者

概要：金融とテクノロジーの融合を意味するフィンテック（Fintech）が日本に到来して 10 年近く経とうとしている。決済、与信、資産運用といったさまざまな分野で多くのスタートアップが生まれ、新しいサービスも登場した。一方で、フィンテックによる金融包摂という状況は日本には生まれず、ユニコーンの誕生も海外に比べ少ない。今後、どのような展望を持って進めば良いのか、議論する。

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月31日(金)

9:00-9:50

主催者パネル “日本初” 金融横断データコンペが創出する金融AI人材

村木圭 金融庁 チーフ・データ・オフィサー
安原貴彦 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー代表取締役社長
齊藤秀 SIGNATE 代表取締役社長
アギラー クライノロアレス Data Science League 全体代表 慶應義塾大学 経済学部 学士2年

モデレーター:

岡田拓郎 一般社団法人データ活用推進協会代表理事/デジタル庁プロジェクトマネージャー

概要: 金融業界では、DX・デジタル人材の確保が喫緊の課題であり、各金融機関がデジタル人材の育成に日々取り組んでいる。そんな中、(一社)金融データ活用推進協会では、金融業界のAI・データ人材の発掘、育成を目的に"日本初"となる金融業界横断でのデータコンペティションを開催した。運営には、MUFG、みずほ、三井住友信託、SBIHDにスタートアップも加わり、デジタル庁が後援。全国の金融機関だけでなく将来の金融業界を担う大学生や高校生含め 1,600 名以上が参加した。本コンペの目的や結果を振り返りつつ、金融業界のデジタル人材形成の在り方について提言する。

10:00-10:50

主催者パネル デジタルデバイドを放置しない金融の民主化とは?

洛西一周 Helpfeel 代表取締役/CEO
山内奏人 WED CEO
吉木直道 SBI ネオファイナンシャルサービシーズ代表取締役社長
榎本清人 第二地方銀行協会 SARBLAB 室長

モデレーター:

関口慶太 日本経済新聞社 フィンテックエディター

概要: ほとんどの人が複数の銀行口座を持っている日本では、「金融包摂」はすでに実現していると言われてきた。しかし、金融サービスがデジタル化されたものになった瞬間、普及率はガクンと下がる。スマホやインターネット環境などのデジタルインフラが不十分で、デジタルデバイド(情報技術格差)が生じてしまっている地域が数多く残っているためだ。こうした格差を是正し、真に民主化された金融サービスを実現するために必要なことは何か、議論する。

11:00-11:50

主催者パネル ESG x 金融 x テクノロジーが生み出す新ビジネスの威力

高田英樹 金融庁 総合政策局 総合政策課長
金子忠裕 三井住友フィナンシャルグループ理事 サステナビリティ本部副本部長
藤井達人 日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 業務執行役員 金融イノベーション本部長
日本ブロックチェーン協会 理事
二宮暢昭 ムロオシステムズ 執行役員

モデレーター:

松本裕子 日本経済新聞社 金融・市場ユニット ESG エディター

概要: 世界的な脱炭素化の潮流の中で、日本でも CO2 削減や再生可能エネルギー利活用の必要性が叫ばれている。ただ、脱炭素化を義務ではなく積極的なビジネスチャンスとしてとらえると、新しい可能性が広がる。特にそこに金融やテクノロジーのサポートを加わえることが、脱炭素化と成長を共に実現させるためには重要だ。

12:00-12:30

デモステージ C

クレジットエンジン 融資・債権回収領域のデジタル化と CE Online Lending Platform について

新色顕一郎 クレジットエンジン 取締役 COO

G.U.テクノロジーズ 国内銀行各行が Japan Open Chain 上での発行を目指す「日本法に準拠するステーブルコイン」が創る、次世代金融ビジネス

稲葉大明 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CEO

リードインクス ソフトバンクのグループ企業が目指す「新たな保険体験の実現とデジタルの必要性」

三輪潤 リードインクス COO & CISO 事業開発本部 本部長

13:00-13:50

対談 共創によるニッポンの DX 推進

浦川伸一 損保ジャパン 取締役 専務執行役員

磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 常務執行役員 デジタルソリューション本部長

概要：テクノロジーの進歩や働き方の変化によってデジタル社会が急速に進展し、中小企業を始めとした全国の法人事業者の DX が経営課題となる中で、企業や業種といった様々な境界が曖昧になり、企業間協業やデジタルサービスの相互提供による共創が不可欠になりつつあります。このセッションでは、DX 推進に尽力されている損保ジャパンの浦川氏と三井住友フィナンシャルグループの磯和氏に、共創による DX 推進をテーマにお話頂きます。

14:00-14:30

対談 保険リンク証券拡大による社会への価値提供

荻生泰之 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング ストラテジックインパクト

フィンテックリーダー／ブロックチェーン・コンサルティング・ビジネスリーダー／パートナー

飯沼邦彦 Vesttoo Japan 日本における代表者

概要：これまで保険リンク証券は大規模自然災害への対応を中心としてきた。Vesttoo 社は独自の手法を梃子に自然災害以外の保険リンク証券の拡大に取り組んでいる。本セッションでは、その意義、社会効果と保険リンク証券によって描かれる未来について論じる。

14:40-16:10

インパクトピッチ

1	あるやうむ	6	Kiva
2	カウリス	7	LUCA ジャパン
3	efit	8	Payment Technology
4	Futurae Technologies	9	ペイトナー
5	G-Bank Technologies / GIG-A	10	エスジェイ・モバイルラボジャパン

16:20-17:20

主催者パネル Web3・NFT のユースケースで知る世界と地域の最新トレンド

高長徳 SBINFT 代表取締役社長

田中隆一 フィナンシェ 共同創業者 取締役 COO・CMO

各務貴仁 CoinPost 代表取締役 CEO

たぬきち BuzzOne Co-Founder

藤本真衣 イントマックス 共同創業者

モデレーター：

上田敬 日本経済新聞社 編集 総合解説センター担当部長

概要：Web3・ブロックチェーンの技術を社会実装する試みはすでに、多くの現場で始まっている。本セッションでは、世界や日本各地での NFT（非代替性トークン）などのユースケース（活用事例）を当事者や専門家が紹介、解説する。Web3 は社会や産業のシステムをどのように変革するのか。DAO（分散型自立組織）の登場で、個人の働き方、貢献と評価・報酬のあり方は、どのように変化するのか。我々が今後、目指すべき方向性と課題について議論する。

17:30-18:10

インパクトピッチ表彰式 / 閉会挨拶

18:10-20:00

クロージングセレモニー（懇親会）

セッション情報は [2023/03/28](#) 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月28日(火)

10:40-11:40

金融イノベーションを実現するメカニズム

～ イノベーションを組織に定着させ、アクションへ繋げるには ～ powered by AWS

生田目雅史 東京海上ホールディングス 常務執行役員 グループデジタル戦略総括

有田帝馬 日本銀行 金融機構局企画役

林良太 Finatext ホールディングス 代表取締役社長 CEO

鶴田規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 エンタープライズ事業統括本部

金融事業/ストラテジックアカウント/西日本事業本部 統括本部長

モデレーター:

松本肇子 アマゾン ウェブ サービス ジャパン金融事業開発本部 デジタルイノベーションリード

概要: 金融領域のイノベーションは、ビジョンとして提示する段階から、組織として継続的に効果を生み出していくアクションのフェーズへと入っています。今回は、DX (デジタルトランスフォーメーション) の「トランスフォーメーション」に注目したパネルディスカッションを行い、業界をリードするパネリストの方々、イノベーションをアクションへと繋げていくために、どのような取組みが必要か議論を深めてゆきます。ワークショップの参加者が、イノベーションを組織に根付かせるための、行動につながるヒントを持ち帰ってみたいと考えています。

11:50-12:30

地方銀行における顧客接点のDX化の現在と未来 powered by Helpfeel

宮長志帆 Helpfeel CFO

概要: コロナ禍以降、金融業界では顧客接点がオフライン(実店舗)からオンライン(オンラインバンク等)へと大きく移行しています。今日の状況は、顧客接点をDX化することで、業務効率化と顧客満足度向上が両立できる大きなチャンスです。実際にFAQやチャットボット等のシステムを駆使して顧客接点のDX化に取り組む金融機関が出てきています。本セッションでは地方銀行における顧客接点のDX化の現在と未来をお話します。

13:15-13:55

対談 レガシーブランドをWeb3に導入する方法

トーマス・クロー・ジェンセン CEO, Copenhagen Fintech

モートン・ロンガード Founder and CEO, Reality+

概要: Reality+は、最新のWeb3技術を用いて、主要ブランドがファンと交流するのを支援しています。Copenhagen Fintechとともに、ファイアサイドチャット形式で、物理的な世界とデジタルの世界を結びつけ、FIFA、Tour de France、ITV、BBCなどの例を挙げながら、新しい世代の消費者に到達する方法について議論します。

14:05-14:35

日本社会・企業はWeb3をどう受け止め、どう活用していくべきか powered by Ginco

野崎彰 デジタル庁 Web3.0 チーム参事官

森川夢佑斗 Ginco 代表取締役

モデレーター:

村上宗真 Ginco 企画部長

概要: 2022年にWeb3が国家戦略に盛り込まれたことで、多くの企業がWeb3の活用に取り出している。しかし、投機的なイメージが先行するWeb3ビジネスに対し、企業の上層部や世間一般から懐疑的な目が向けられることも少なくない。こうしたハードルを乗り越えるためには、Web3という一連のムーブメントにうかされず、実のある部分を冷静に見極めて、その効用を最大化していかなくてはならない。本セッションではデジタル庁でWeb3.0研究会の事務局を務めた野崎彰参事官と、エンタープライズでWeb3の事業創出支援に取り組んできたGinco 森川の二名が、日本企業・日本社会にとっての現実的で建設的なWeb3の受け止め方を提示し、足元での活用方法について議論を交わす。

議題

- なぜいま Web3 なのか
- 既存事業と日常生活の延長線上にある Web3 の捉え方
- Web3 に取り組む企業の陥る落とし穴とその解決
- 企業は政府当局とスタートアップをどう活用すべきか

14:45-15:15

web3 技術がもたらす新しい社会に向けて、国内企業が Japan Open Chain で「今」取り組む共創ビジネス powered by G.U.テクノロジーズ

- 中野誠 NTT コミュニケーションズ プラットフォームサービス本部 コミュニケーション&アプリケーションサービス部 第二サービス部門長
- 渋谷定則 みんなの銀行 サービスデザイングループ グループリーダー
- 川村文彦 コーギア 代表取締役社長
- 近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO

モデレーター：

- 稲葉大明 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CEO

概要：web3 技術が与える影響が期待される金融領域と地方創生。実際に web3 ビジネスに取り組む企業の方々と共に、web3 技術がもたらす新しい社会とそれを見据えて、「今」何をすべきか？そして今後何をを目指すのか？ 視聴者の皆さまの web3 技術の理解と魅力が深まるディスカッションを行います。

15:30-16:30

「貯蓄から投資へ」をどのようにシン化させるか？

～フィンテック・組込展開で実現する世界～ powered by MUFG

- 田中誉俊 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部次長
- 木下あかね Finatext 代表取締役 CEO
- 藤田雄一郎 ファンズ CEO

モデレーター：

- 前川純一 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部調査役

概要：政府の掲げる資産所得倍増プランで NISA 制度の拡充や金融経済教育の充実などの取組が示されるように、「貯蓄から投資へ」の重要性が一層増している。また Fintech の進展により、個人は誰でも便利に金融サービスを使えるようになり、企業は従来の金融機関に限らない新たな担い手も増えている。

本セッションでは「貯蓄から投資へ」をどのようにシン化させるか？をテーマに、重要または課題・障壁となる点について、金融機関・Fintech 企業のメンバーをパネリストとして迎え、本音でディスカッションを行う。

16:40-17:10

共創戦略で実現する保険 DX powered by リードインクス

- 柏岡潤 リードインクス 代表取締役社長 兼 CEO
- 兵頭裕 PayPay 保険サービス 代表取締役社長 CEO
- 岸和良 住友生命保険相互会社 エグゼクティブ・フェロー デジタル共創オフィサー デジタル&データ本部 事務局長

概要：リードインクスでは、保険会社向け・保険代理店向けの InsurTech サービスを提供し、保険業界の DX を推進しています。鍵となるのは「デジタル共創」で、多数の成功事例が生まれています。本セッションでは、「PayPay ほけん」としてヤフーの embedd insurance や PayPay ほけんミニアプリを手掛ける PayPay 保険サービス株式会社、熱中症保険やインフルエンザ保険などを展開する住友生命グループ、両社のキーマンから戦略をお伺いします。

17:20-18:10

サステナビリティ情報の開示促進に向けたデータと評価の標準化

～中堅・中小企業を取り残されない枠組み～ (デジタル庁)

- 加藤康之 京都大学 経営管理大学院客員教授、京都先端科学大学教授
- 森喜彦 中小企業庁 長官官房 中小企業政策上席企画調整官
- 安原貴彦 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 代表取締役社長
- 平瀬錬司 サステナブル・ラボ 代表取締役 CEO

モデレーター：

- 柴田誠 Head of FINOLAB UI 銀行 社外監査役

概要：(1) パネリスト自己紹介 (2) プレゼンテーション (3) パネルディスカッション

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月29日(水)

10:00-10:50

30代社長が切り開く金融デジタルの新時代 (デジタル庁)

齊藤達哉 Progmat 代表取締役ファウンダーCEO(予定)/三菱 UFJ 信託銀行プロダクトマネージャー
田中聡 TrustBase 取締役 CEO/三井住友信託銀行デジタル企画部主任調査役
佐野宏喜 Lupinus 代表取締役社長

モデレーター:

佐藤市雄 SBI ホールディングス社長室ビッグデータ担当 次長

概要: 金融業界のデジタル実装が急激に進む一方で、これまでの金融業界における年功序列による働き方が崩壊しつつある。テクノロジーを手に、シン時代を切り開こうとする30代社長の活躍が金融業界で事例化しつつあり、本セッションでは、バックグラウンドの異なる30代社長が「なぜ起業したのか」「30代で起業する価値」「金融デジタルへの想い」について熱い議論を展開し、新しい時代の始まりを見出します。

11:00-12:00

MUFGが取り組む新たな産業創出に向けたスタートアップ支援

～スペーステックへの取り組みを例に～ powered by MUFG

笠原寛史 三菱 UFJ 銀行 産業リサーチ&プロデュース部 調査役
岩井亮三 三菱 UFJ 銀行 成長産業支援室 調査役

モデレーター:

佐野尚志 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ Chief Investment Officer

概要: 昨今の市況環境下でも MUFG は積極的にスタートアップ支援を行っており、特にエクイティ出資やデッド支援を通じた新産業の創出にも力を入れている。本セッションでは MUFG グループとしての対スタートアップへの支援全体像をご説明すると共に、実際に MUFG としてどのような支援を行っているのか、スペーステック領域のファイナンス事例を交えながらご紹介する。モデレーターは MUFG の CVC である MUIP 佐野が務める。

12:30-13:30

SMBCグループの非金融デジタルサービスの取組について powered by SMBC

・第一部

柳澤隆大 SMBC クラウドサイン 事業企画部長
三井住友フィナンシャルグループ デジタル戦略部 部長代理
本多寛行 スルガ銀行 ソリューションビジネス推進本部 FI 推進室 部長
村田大輔 クラウドローン 代表取締役

・第二部

鈴木厚行 三井住友銀行 デジタル戦略部 部長
三浦健人 パーセフォニ ジャパン合同会社 カントリーマネージャー
池上由樹 Allganize Japan Business Development Manager

概要: 二部構成で SMBC グループが進める非金融デジタルサービスの取組について解説します。前半は SMBC クラウドサインを活用した地域金融機関の DX 推進をご導入企業と共にご紹介、後半は金融機関の脱炭素を支援するための取組を、パートナー企業のパーセフォニと Allganize Japan との対談形式でご紹介します。

13:40-14:20

複雑な世界における生命保険の未来 powered by dacadoo

ピーター・オネムス dacadoo 代表取締役社長兼会長

概要: ピーター・オネムスは、生命保険がどのように変化しているか、また、生命保険業界がこれまでどのように経済成長と約束を果たしてこなかったかについて取り上げます。過去10年間、生命保険は世界の経済成長率を約50%も下回ってきた

ました（出典：マッキンゼー）。消費者は、生命と保障を提供し、経済的な貯蓄要素もある、ハイパー・パーソナライゼーションを提供する新しい商品を求めています。

14:30-15:30

トランパーが語る”アプリ×デビット”が作る銀行のリテール戦略

久米均 金融庁 監督局 銀行第一課 課長補佐
青山武広 三井住友銀行 リテール・マーケティング部 副部長
葛城康喜 千葉銀行 カード事業部 部長
出口善也 ソニー銀行 商品企画部 部長

モデレーター：

山田望未 ビザ アジア太平洋地域 デビット・プリペイド・ヘッド シニア・ディレクター

概要：銀行のリテールバンキングにとって、決済端末としてのスマホとして以上に、スマホアプリが顧客接点として重要性を増しています。海外の銀行では、銀行アプリへ確実にアクセスしてもらうためデビット機能をアプリに統合し、そこからローンや投資商品など付加価値の高い商品のクロスセルを目指しています。日本市場で銀行アプリに積極的に取り組まれている銀行をお招きして、アプリ戦略や今後の狙いについて議論していただきます。

15:40-17:10

日本市場における資産運用ビジネス成功の鍵

～顧客に寄り添う資産運用サービスの提供に向けて powered by NEC

堀本善雄 金融庁 総合政策局 政策立案総括官
武藤惣一郎 アクセンチュア ビジネスコンサルティング本部 キャピタルマーケットプラクティス
アジア太平洋・アフリカ・ラテンアメリカ・中東地区統括 兼 日本統括
マネジング・ディレクター
パスカル・ウェンギ Avaloq 北アジア マネージングディレクター

モデレーター：

松本裕子 日本経済新聞社 金融・市場ユニット ESG エディター

概要：資産所得倍増計画の実現に向けて、資産運用サービス提供者が顧客本位の業務運営を通じ、顧客が安心して相談できる環境を整備し、国民の投資を後押しすることが求められる。資産運用高度化に向けた金融庁の取り組みと、それを取り巻く資産運用市場のトレンド、また資産運用が根付いている欧州等海外における金融機関の取り組み事例も参考に、金融庁、Accenture、Avaloq の3社で今後のあるべき姿を描く。

（同時通訳）ご自身のスマホに「interpretfy（インタープリファイ）」アプリを事前インストール頂き、音声をイヤホンにてお聞きください。なお、イヤホンはご自身でご用意ください。

17:20-18:10

決済のプログラマビリティ：新たな機会をもたらす技術（日本銀行）

アデリーヌ・バシエレリ フランス銀行 ヘッド・オブ・ニュー・テクノロジーズ・アンド・イノベーション
ニック・パウハン イングランド銀行 中央銀行デジタル通貨リード・アーキテクト
クリスチャン・グロトフ ベルン応用科学大学 教授
鳩貝淳一郎 日本銀行 決済機構局 FinTech センター・フィンテックグループ長

モデレーター：

別所昌樹 日本銀行 決済機構局 FinTech センター長

概要：このところ、「プログラマビリティ」という言葉を聞くことが多くなっています。この言葉に込められた意味は人によって様々ですが、一定の条件に基づき決済を行うといった機能を、その利用者をも含む様々な主体が自らプログラムすることができるという点で、注目されます。このセッションでは、決済のプログラマビリティを探索する中央銀行（フランス銀行、イングランド銀行、日本銀行）と学界のエキスパートが一堂に会し、その主要概念、実装アプローチ、機会、ユースケースについて議論します。

シンポジウム

HALL A: 丸ビルホール

ワークショップ

HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

3月31日(金)

3月28日(火)

3月29日(水)

3月30日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月30日(木)

9:00-9:50

CB-Techの最前線 5th GIG: 新結合! (日本銀行)

古川角歩 日本銀行 調査統計局
橋本龍一郎 日本銀行 金融機構局
宇根正志 日本銀行 金融研究所 企画役
小島怜 日本銀行 決済機構局

モデレーター:

別所昌樹 日本銀行 決済機構局 FinTech センター長

概要: わが国の Central Bank (CB) である日銀の最新のリサーチ成果を紹介するフラッシュトーク。第5弾の今回は、①オルタナティブデータを用いた経済ナウキャスト、②格付けモデルでの機械学習の応用、③機械学習を利用した金融サービスの公平性、④プライバシー保護技術について、日銀の Tech リード達が解説します。著名な経済学者シュンペーターは、イノベーションとは「新結合」であると述べました。私たちの才能、アイデア、そしてデータの「新結合」の果実に期待ください。

10:00-11:00

AIが金融サービスを大きく変える! マイクロソフトが提供するAIテクノロジー powered by 日本マイクロソフト

藤井達人 日本マイクロソフト 金融サービス事業本部 業務執行役員 金融イノベーション本部長
日本ブロックチェーン協会 理事
清水直幸 Nuance Japan エンタープライズ事業部 プリンシパル セールスエンジニア

概要: 近年、AIが急速に進化し、いわゆるジェネレーティブAIが金融サービスを大きく変えていくという期待が高まっています。本セッションでは、AIのリーディングカンパニーであるマイクロソフトのAIテクノロジーがどのように金融サービスを変革するかについてお話しします。また、マイクロソフトが買収したニュアンス・コミュニケーションズの音声認識・声紋認証テクノロジーについてもご紹介いたします。

11:10-12:00

デジタルの生み出す双方向性が、地方行政の課題発見・解決を促進 powered by QUICK

北村慎也 QUICK ナレッジコンテンツ本部 シニアマネジャー
西垣淳子 石川県 副知事/CDO

概要: 石川県ではリアルタイム社会経済診断システム「QUICK DataCast」を導入し、地方行政におけるEBPMを推進しています。県や各市町のデジタル化を進める「デジタル化推進会議」のCDO(最高デジタル責任者)を務める西垣副知事氏と、データ活用が地方行政にどのような変化をもたらすのか、市町におけるデジタル化の推進、意識改革の進め方など議論します。

12:20-13:00

これからの金融機関経営における、デジタル/AI戦略の新潮流 powered by ダイナトレック

堀田創 シナモン 代表取締役 Co-CEO
佐伯慎也 ダイナトレック 取締役 プロダクトマネージャー

モデレーター:

佐伯卓也 ダイナトレック 取締役

概要: 昨今の不確実性を増し続ける市場環境の中で、金融機関は収益機会を模索する時代に突入しています。新たなビジネスモデルを探索する現状において、私たちはDXにどのような目的を見出すことができるのでしょうか。本セッションでは、DXの目的の一つに「レジリエンス」というテーマを据え、コミュニケーションや組織の柔軟化・効率

化がもたらす意味と未来像について、AIとデータ活用のスペシャリストが討論を行います。

13:10-13:40

金融CDD最新事例とデジタル本人確認ガイドライン powered by TRUSTDOCK

千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO

神谷英亮 TRUSTDOCK Public Affairs 室長

概要：金融機関、保険、決済など様々なオンライン手続きの場面で、Customer Due Diligence (CDD) の重要性が増していますが、各社はどのような対応を行なっているのでしょうか？今回は、KYCを専門とする TRUSTDOCK が、金融業界における最新事例をご紹介します。

また、2023年3月に公表する「民間事業者向けデジタル本人確認ガイドライン」について、策定の背景やその内容を解説いたします。

13:50-14:50

B2B2C ビジネスモデルによる新しい銀行サービスのカタチ

～NTTドコモとMUFGで取り組む「dスマートバンク」～ powered by MUFG

重村優哉 NTTドコモ ウォレットサービス部 主査

中賀優 三菱UFJ銀行 デジタルサービス推進部 調査役

概要：「dスマートバンク」はNTTドコモと三菱UFJ銀行が共同で取り組むデジタルバンキングサービスです。三菱UFJ銀行の口座開設や残高照会が可能なスマートフォンアプリをNTTドコモが提供します。今後のサービス展望から異業種連携の極意まで両社実務担当ならではの観点で参加者の皆さんと議論します。

15:00-16:00

金融機関におけるデジタルプラットフォームの未来予想図 powered by EY

樋川雅人 第一生命保険 事務企画部 フェロー

青木計憲 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・コンサルティング統括リーダー
兼保険コンサルティングセクターリーダー／パートナー

木下大輔 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス テクノロジーコンサルティング
シニアマネージャー

西田良映 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス 銀行・証券セクター ディレクター

概要：テクノロジーの進化、プラットフォームの出現、Covid-19による価値観と金融商品に対する顧客ニーズの大きな変容といった環境が変わりつつある中、銀行や保険会社を含む金融業界のデジタル化は変化しながら加速しています本ワークショップでは、第一生命保険の樋川 雅人氏をお迎えし、金融機関が直面する課題をお聞きするとともに、時代に合わせたオペレーションモデルとそれを支えるアーキテクチャーを陳腐化させずに進化を可能にする「EY Nexus」がどのように貢献するかについて議論します。

16:10-16:40

すぐそこにある Nasdaq 上場～IPOのひとつの選択肢 powered by Nasdaq

杉原幹郎 Nasdaq 東京オフィス代表

概要：

16:50-17:20

グローバルなオルタナティブ資産としてのアート ～富裕層はなぜアートに投資をするか～

北島輝一 エートーキョー 代表取締役 アートフェア東京 マーケティング・ディレクター

竹下智 野村資本市場研究所 主任研究員

概要：富裕層個人は資産の5%程度をアートで保有しているとされる。アートは資産運用・分散投資の観点から一つのアセットクラスとして認識されており、特に現代アートに対する注目度が高くなっている。世界のアート市場規模は計651億ドル(2022年)、米国、中国、英語で80%を占めている。日本のアート市場規模は非常に小さい。ウェルスマネジメントビジネスへの取り組みを強化している日本の金融機関にも、アートへの取り組み強化が期待される。

セッション情報は [2023/03/28](#) 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。